2026 年度

研究分野	授業科目名	科目責任者
生理系分野	呼吸器病態制御医学特論Ⅰ・Ⅲ	友田 恒一

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1,2,3,4	特論Ⅰ：必須専攻, 特論Ⅲ：選択	特論Ⅰ：4（2/年）, 特論Ⅲ：1/年	

目的

（1）呼吸器疾患とくに慢性閉塞性肺疾患，気管支喘息，肺線維症（間質性肺炎）の病態を修得する。
（2）上記の呼吸器疾患の病態について解明されていないことを修得する。
（3）上記の呼吸器疾患の新たな治療法とその機序を修得する

授業到達目標

（1）呼吸器疾患とくに慢性閉塞性肺疾患，気管支喘息，肺線維症（間質性肺炎）の発症機序を説明できる。
（2）上記の呼吸器疾患について解明されていないことを説明できる。
（3）上記に呼吸器疾患について新たな治療法をその機序から説明できる。

授業計画

回数	月日	曜日	時間	担当者	区分 1	区分 2	授業内容
1	毎週	火	13:30-14:30	友田 恒一	講義	[症例検討会]	総合内科 1 入院患者症例検討会 [場所:総合医療センター 5 階カンファレンスルーム 3]
2	毎週	火	17:00-18:00	友田 恒一	講義	[抄読会]	呼吸器病学の英語論文を紹介し，それに対する考察・討論を展開する。 [場所:総合医療センター 5 階医局]

評価方法

【特論Ⅰ】
（1） 1 年間※で 30 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2） 1 年間※で，論文紹介または症例発表を 2 回行い，その要約 2 編を提出する。
【特論Ⅲ】
（1） 1 年間※で 15 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2） 1 年間※で，論文紹介または症例発表を 2 回行い，その要約 2 編を提出する。
ただし，特論Ⅰ・Ⅱで紹介したものとは異なる論文（症例）であること。
特論Ⅰと Ⅲの同年度での重複受講は不可とする。
※ 1 ～ 3 年生は 2 月末まで，4 年生は 11 月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。

課題（レポート等）に対するフィードバック

紹介論文の要約について，添削して返却する。

教科書

ISBN-9784779226915, COPD(慢性閉塞性肺疾患)診断と治療のためのガイドライン 2022（第 6 版）, 日本呼吸器学会, メディカルレビュー社, 2018
ISBN-9784524234080, 特発性肺線維症の治療ガイドライン 2023, 日本呼吸器学会, 南江堂, 2023
ISBN-9784524228287, 特発性間質性肺炎診断と治療の手引き, 日本呼吸器学会, 南江堂, 2022
ISBN-9784877942397, 喘息予防・管理ガイドライン 2024, 日本アレルギー学会, 協和企画, 2024
Global Initiative for Chronic Obstructive Lung Disease（GOLD） ガイドライン
https://goldcopd.org/2025-gold-report/

参考書

ISBN-9784314011440, マイクロバイオームの世界―あなたの中と表面と周りにいる何兆もの微生物たち, ロブ・デサール（著）, スーザン・L. パーキンズ（著）, 紀伊國屋書店, 2016
ISBN-9784152096531, 腸科学 健康な人生を支える細菌の育て方 単行本（ソフトカバー）, ジャスティン・ソネンバーグ（著） , 早川書房, 2016

準備学習（予習・復習等）

（1）講義毎に紹介する文献・論文を，次回講義までに読んでおく。
（2）呼吸器疾患と併存症（systemic effect）について経験した症例を振り返るとともに，文献的考察を行い，今後の研究内容のあり方について考える。
（2～3時間）

修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

課題を探求し，仮説立脚，検証に至るまでの科学的方法論・思考法を知悉する。

注意事項・メッセージ

慢性呼吸器疾患に対する治療の最先端を学習して下さい。